

# イタリアンライグラス「タチワセ」の 上手な栽培と利用法

雪印種苗株式会社 千葉研究農場 近藤 聡

## はじめに

今秋より、イタリアンライグラスの早生新品種「タチワセ」が新発売となり、雪印種苗の育成品種は、極早生から晩生まで品種のラインナップがより一層充実しました。これにより、地域による栽培環境の差や利用方法の違い、作付体系の複雑化など多様化する皆様のニーズに応えることができると思います。

タチワセの特性と育成経過の概要については、本誌第35巻6号で紹介しましたが、タチワセは単にその多収性による違いだけでなく、極めて特徴的なアップライトで直立型の草姿で、耐倒伏性が非常に強いなど他の品種に見られない特性をもっています。今回は、タチワセの優れた特性を生かした栽培利用法について紹介したいと思います。

## 播種期

〔秋播き〕

西南暖地 9月下旬～11月中旬  
温暖地 9月中旬～10月下旬  
準高冷地 9月上旬～10月上旬

早播きすると年内利用もでき、タチワセは耐寒性も強いので、年内利用による冬枯れ障害はほとんど見られません。

西南暖地ではあまり早く播き過ぎると、いもち病による立ち枯れを起すことがあるので、播種期は9月下旬以降が良いでしょう。どうしても早く播種したい場合は、いもち病に強いマンモスイタリアンBやエースをおすすめします。

積雪地帯ではタチワセの耐雪性は中でワセアオバとほぼ同程度ですので、播き遅れないように9月下旬ころをめどに播種します。積雪日数が80日をこえるような地域では、耐雪性の強いエースをご利用下さい。

〔春播き〕

春播は東北部やそれに準ずる高冷地が中心となります。関東以西においては、あまり多くないと思いますが、夏播きソルガムや秋作エンバクの後作としての利用が想定されます。平均気温で5℃以上になれば播種可能ですが、西南暖地で2月下旬から3月上旬、温暖地で3月中旬が目安となります。

表1は春播き試験の結果ですが、タチワセは春

## 目次



直立型で倒伏に極めて強いイタリアンライグラス早生新品種「タチワセ」

□雪印種苗育成イタリアンライグラスの品種特性……………	表②
□イタリアンライグラス「タチワセ」の上手な栽培と利用法……………	近藤 聡… 1
■南九州におけるイタリアンライグラスの生育状況と その特性の利用例……………	宮下 茂樹… 4 持留 信雄… 4
■反芻家畜の体脂肪性状に及ぼす各種飼料……………	高橋 敏能… 8
□牛乳成分の向上対策……………	藤本 秀明…12
■飛驒ホウレンソウの品種と作型及び土壤病害……………	秋葉 晴彦…15
□エンバク・ライムギの品種選定のポイント……………	表③
□芝の生育促進と根張りの充実に……………	スノーグローエース…表④

表1 春播きでの品種比較試験

(昭62年 雪印種苗・千葉研究農場)

品 種 名	出穂始 月 日	出穂程度 <sup>1)</sup> I	生 草 収 量 比 <sup>2)</sup>			乾 物 収 量 比 <sup>2)</sup>		
			I	II	計	I	II	計
ワセユタカ	5/28	3.0	(3,084)	(1,661)	(4,745)	(381)	(350)	(731)
ワセアオバ	5/29	3.0	94	115	101	102	118	110
タチワセ	5/29	3.0	110	93	104	117	100	109
コ モ ン	5/28	3.0	85	101	91	91	82	87
サクラワセ	5/20	7.0	90	83	87	117	85	102

注1) 出穂程度(極多9~極少1)

注2) 収量比:ワセユタカの収量を100とした比率(ワセユタカはkg/10a)

注3) 播種期(昭和62年4月1日),刈取り月日(I:6月8日,II:7月14日)

播きでも出穂茎が多く、多収となります。

### 播 種 量

標準的な播種量は、10a当たり2~3kgですが、播種期が遅れた場合には増量して下さい。

また、水稻立毛中播きの場合には、4~6kgとします。

### 施 肥 量

10a当たり堆肥4~6t、元肥NPK各10kg(成分量)を基準としますが、糞尿を大量に投入すると窒素の過剰により、家畜に有害な硝酸態窒素の蓄積、糖含量の減少、乾物率の低下などが起りやすくなるので窒素を減肥して下さい。窒素が過剰な場合は、倒伏の発生や葉色によってそれを知ることが出来ますが、タチワセは特性的に耐倒伏性が極めて強く、多肥にも耐え、葉色も濃いので、判断を間違えないように注意して下さい。

### 雑 草 防 除

タチワセは初期生育が早いので適期播種を行えば通常雑草に負けることはありませんが、播種期が遅れたりすると、ハコベやホトケノザ、ナズナなどが問題になることがあります。

イタリアンライグラスに登録されている除草剤はありませんが、播種直後の土壌処理では、CAT水和剤(シマジン)100g/10aの処理が有効とする報告(本誌35巻6号参照)があります。ただし、土壌の種類によっては薬害が出る場合もあると思われる、実施する場合は事前に小面積で試験をしてみると良いでしょう。

生育期の茎葉処理では、広葉雑草に対

しては、MCP(ソーダ塩)の150~200g/10aの効果が高いのですが、大きくなった雑草には効果が劣るので、なるべく雑草が小さいうちに処理します。

### マメ科牧草との 混播栽培

マメ科牧草との混播によって、蛋白質やミネラル含量を高め、窒素肥料の節減や土壌改良効果などが期待できます。イタリアンライグラスとマメ科牧草の混播は、イタリアンライグラスの初期生育が早いために生育の遅いマメ科牧草を被覆してしまい、収穫時にはマメ科牧草がほとんど残らず、失敗することが多いのが実状でした。

しかし、タチワセはこれまでのイタリアンライグラスにはない受光態勢に優れるアップライトな葉と倒伏に極めて強い特性から、マメ科牧草を被圧することが少なく、混播適性に優れています。

表2は1年生マメ科牧草のクリムソクローバとの混播適性をワセユタカと比較したのですが、タチワセの区はワセユタカに比べてマメ科率が約3倍となり、タチワセの混播適性が高いことが明らかです。

#### タチワセとマメ科牧草混播栽培のポイント

組み合わせるマメ科牧草の種類は生育の早いクリムソクローバが適していますが、アローリーフクローバやアカクローバそれにベッチ類も適します。特にヘアリーベッチは耐寒性が強いので、播種期が遅くなったときには良いでしょう。

播種期はマメ科牧草の播種期に合わせ早目とします。

播種量は、タチワセ:1~2kg/10a、マメ科牧草:

表2 イタリアンライグラスとマメ科牧草の混播試験 (kg/10a)

処 理 (窒素水準)	ワセユタカ		タチワセ	
	マメ科率(%)	DM総重(比)	マメ科率(%)	DM総重(比)
混 播 (N:0)	2.6	780(92)	8.1	839(101)
混 播 (N:5)	1.8	804(95)	6.5	840(101)
単 播 (N:5)	—	845(100)	—	829(100)

注) 播種期:昭和61年10月3日

(雪印種苗・千葉研究農場)

播種量:イタリアン単播……3kg/10a

混播……イタリアン:3kg/10a, クリムソクローバ:2kg/10a

収穫期:昭和62年5月6日



写真1 イタリアンライグラス「タチワセ」とクリムソクローバの混播栽培

1~2 kg/10 a とし、地力の高いところではタチワセの播種量は少なめとします。

施肥量は窒素を控えめとし、堆肥を多量に投入するところや地力の高いところでは無施用で良く、地力の低いところでも 4~6 kg/10 a とします。リン酸は 10~15 kg/10 a とし、カリは窒素に準じます。

また、イタリアンライグラスの生育が旺盛でマメ科牧草の生育を抑えてしまう場合には、年内に一度刈取り利用するとマメ科牧草の生育を助けてマメ科率を高めることができます。

### サイレージ・乾草利用

タチワセは乾物率の高い早生の2倍体品種であることに加え、倒伏に抜群に強いので刈取りのロスが少なく、また地際まで乾いているので、予乾・乾燥効果が高く、サイレージや乾草利用に特に適しています。

乾草利用の場合、春先は気温もまだ低く天候

も不安定でしかも収量が多いため、良質な乾草を生産するためには工夫が必要です。刈取りは出穂期を目安に天気予報に注意して、好天が続くことを確認し、出来ればモーアコンディショナを利用して行います。1日程度予乾した後、1/2はサイレージに調製し、残り1/2を薄く広げて乾燥効率を高め乾草に仕上げます。

サイレージ利用の場合も基本は同じで、水分は70~75%になるように予乾した後、サイロに詰めます。この際、材料草の細断(2~3cm)と十分な踏み込み、早期密封が重要なことは言うまでもありませんが、サイレージ用乳酸菌「スノーラクトL」を0.1%(1kg/t)添加すると損失が少なく、貯蔵性・嗜好性の良い良質サイレージができます。また、天候の関係で十分な予乾ができず、高水分の材料(手で握って水が出る)の場合は、ブドウ糖を0.1~1.0%添加するか、ビートパルプを5~10%添加して水分を調整します。

### タチワセを利用した作付体系

図1にタチワセを利用した作付例を示しました。タチワセは早生の短期多収型の品種ですので、夏作に重点をおき、その中で位置付けを考えます。そうすると、春一回利用後にトウモロコシまたは水稲と組み合わせるか、2番草まで利用してソルガムや暖地型牧草につなげるといった使い方が主流になるでしょう。

### おわりに

イタリアンライグラスの新品種「タチワセ」の栽培と利用方法について紹介しました。栽培利用にあたり酪農家、肉牛農家の皆様の参考にしていただければ幸いです。

○：播種期 ×：収穫期

地域	3月	4	5	6	7	8	9	10	11	12
準冷高地			×	○	トウモロコシ(早~中生)			×	○~○	タチワセ
温暖地			×	○	トウモロコシ(中生), ソルガム			×	○~○	タチワセ
			×	×	○	ローズグラス		×	×	
西南暖地								○~○	×	タチワセ
								○~○	×	タチワセ
		×	○	トウモロコシ(早~中生)			×	○~○	エンバク(ハヤチ)	
	○	×	○	ローズグラス			×	×	×	○
									○	タチワセ

図1 タチワセを利用した作付例

日本の酪農・畜産を取巻く環境は依然として厳しい情勢にありますが、低コスト生産・乳質の向上に結びつく良質自給飼料の生産に、新品种「タチワセ」が役立つことを願っています。